

S H I M I N P H O T O

市民フォト

KAGOSHIMA

鹿児島



NO. 107

平成19年1月1日発行



【未来へ】 ～鴨池公園～

CONTENTS

〔特集〕アジアに広がるまち	3
クローズアップ	12
廣田 稔さん	
学校探訪	14
鹿児島玉龍中学校	
カメラトピックス	16
まるごと桜島	18
白川 隆さん	
私の好きな場所	20
岩坪 恵美子さん	
ふるさと再発見／文化財編	22
心岳寺跡	
あなたのフォトサロン	24
松元写友会	
よかタイム	26
山田 良子さん	
街角ウォッチング	27
宇宿駅周辺	
わが家の味じまん	28
アナスコさんファミリー	
館のたからもの	29
平川動物公園	
わが町上空 公営企業編	30
船舶部（桜島フェリー）周辺	

★表紙写真説明

かごしまアジア青少年

芸術祭参加者の皆さん

（中央公園）



特集

アジアに広がるまち



交通手段の発達や交通網の整備などにより地球規模での交流が広がる中、「鹿児島市」でも国内外から多くの人を訪れ、また、民間団体や行政などによる国際交流も活発に行われています。

「アジアの世紀」と言われる21世紀。日本の南の玄関口「鹿児島市」とアジア地域との交流の魅力とその広がりに向けた取り組みを紹介します。



鹿児島市の北東約28kmに位置する「鹿児島空港」。国内19、国際2路線が就航

(C)Product/Clear Light Image Products Agency/Artbank



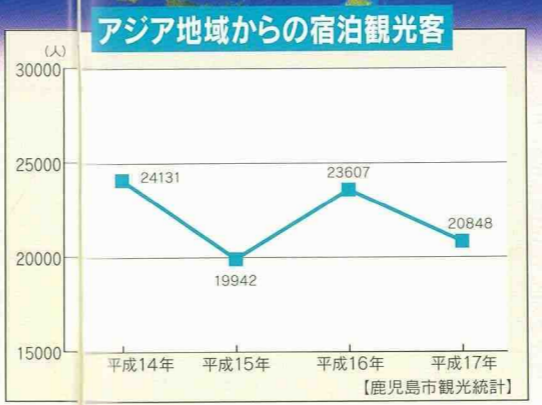
平成23年全線開業予定の「九州新幹線」



海外観光客船が寄港する「鹿児島港谷山1区」

陸・海・空の交通結節点にある鹿児島市は、いわば日本の南の玄関口。人口減少社会の到来が予測される今日、活力ある地方都市を創出するには地域間の交流が重要となっています。今後、九州新幹線の全線開業やマリナーポートかごしまの整備などにより、南の交流拠点都市としての都市機能がさらに充実し、国内の交流はもちろん、地理的・歴史的に関わりの深いアジアの国々との交流がますます盛んになってくることが期待されます。

多くの人が行き交う日本の南の玄関口『鹿児島市』



陸の大動脈「九州縦貫自動車道」

日本を堪能しました マドック・エルシーさん 旅行者



「大都市と違って、人がとても温かいです」

神社仏閣や住まいなど日本人の文化や生活スタイルに興味があり、イギリスから来ました。

鹿児島は温泉や美しい島々があり、気候も温暖で桜島や仙巖園などの観光地も多いので、予定を延ばして滞在しました。

たまたま宿泊先の近くの公園であったイベントで鹿児島の人達と話しをする機会がありましたが、皆さんとても親切で、心の温かさがとても印象に残っています。

新しい家族ができました 細田かすみさん ホストファミリー

私が通っている短期大学とマレーシアの学校との交流が縁で、カルビン・タンさんのホストファミリーを引き受けました。

マレーシアでのホームステイの恩返しをしたいと思い、ホストファミリーになることに反対していた両親を説得。家族全員が片言の英語でコミュニケーションをとりながら、日本の生活習慣などを説明。うまく伝わらず、思わずみんなで大笑いすることも。

短い期間でしたが、わが家の中が一段と明るくなった2週間でした。



お母さんの自慢の手料理「鶏飯」が大好きになりました



「みんなでハイ、ポーズ！」【カルビン・タンさん(左から3人目) 細田かすみさん(左から2人目)】

広がる交流の輪が
ま
ち
を
元
気
に
す
る
!

鹿児島から世界へ、世界から鹿児島へ 弓場 秋信さん 商社

「海の向こうにどうい国があるのか」という思いから、会社を創業。今年で25年になります。

主に養殖配合飼料をアジア、アフリカなど16カ国に輸出する一方で、ホームセンター向けの商材を輸入しています。最近では、鹿児島県産の緑茶を中国に、養殖ハマチの加工品をアメリカやマレーシアに輸出しています。

「物」の交流は経済発展にはとても大切です。アジア地域の物流の拠点であるマレーシアや中国・上海に近い九州。その中でも南に位置する鹿児島は大いにその地の利を生かすことができると思います。



「鹿児島と世界の橋渡しをすることで、地域と共に発展することができればと思います」



商談会で鹿児島の商品をPR



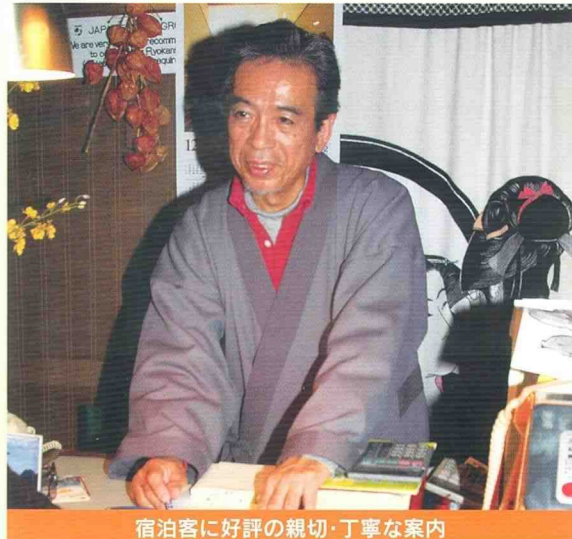
倉庫いっぱいの輸入商材

温かいもてなしで 鹿児島ファンを増やしたいですね 中蘭 真一さん 旅館業

昭和35年に祖父母が始めたこの旅館。年々宿泊客が減っていく中、昭和50年頃、初めて外国人が宿泊。この古い日本の宿を喜んでくれたのがヒントに。

外国人だからといって、特別なことはしていません。おもてなしの気持ちを大切に、講座と実際の接客の中で自然と身に付けた英会話でコミュニケーションをとっています。

これからも外国人観光客が必要とする観光情報を提供し、「鹿児島」を好きになってもらえたらと思います。



宿泊客に好評の親切・丁寧な案内



長沙外国語学校女子合唱団(中国)

友好都市・長沙市(中国)から参加。
美しいハーモニーに思わずうっとり



セント・フランシス学院・カレッジ・ヤヤサン・サード学院カルチャー・アンバサダー(マレーシア)

色鮮やかな民族衣装と軽快な音楽・ダンスで観客を魅了



チョンジュ ドクソン小学校ハンオルソリ芸術団(韓国)

力強い韓国太鼓の響きに感動



松陽高校吹奏楽部(鹿児島市)

重厚で躍動感のある演奏に拍手喝采



フィナーレ「We are the world」を全員で合唱

新たなアジアとの交流を 鹿児島から

「アジアン・鹿児島2006」第一回がごしまアジア青少年芸術祭

アジア各国と鹿児島市の青少年が一堂に集い、音楽を中心とする芸術を通して、国際交流を図る「第一回がごしまアジア青少年芸術祭」が十二月二・三日、宝山ホールと中央公園で開催されました。
宝山ホールで開催された青少年音楽祭には、海外六カ国八団体と本市の代表四団体が参加。言葉や文化の違いを越えた交流が行われました。

■わが国の南に位置する鹿児島市にとっての「国際交流」をどのように考えていますか。

鹿児島が本土の最南端に位置していることは、日本の中でアジア地域に最も近いということでもあります。経済発展著しいアジア地域との交流、特にわが国に近い韓国や中国など東アジア地域との交流を進めることが、これからの鹿児島市にとって重要であると考えています。



森 博幸 市長

市長に聞く

「アジアに広がるまち」

四年後の九州新幹線の全線開業により、日本の南の陸・海・空の交通結節点としての鹿児島市の都市機能がさらに高まり、ダイナミックな人の交流が期待されます。

私はこの百年に一度あるかないかの絶好の機会を確実に本市の発展浮揚につなげるために、本市の特性を生かした観光拠点や交通基盤の整備に取り組み、人と自然に優しい魅力多様なまちづくりを進めていきます。

■二十一世紀のキーワードのひとつとして「交流」があげられます。南の交流拠点都市である本市のまちづくりにより、どのように取り組んでいきたいと考えていますか。

市街地の眼前にそびえる活火山「桜島」と波静かな「錦江湾」という世界に誇る景観、人の温かさ、今日の日本の礎を形づくった明治維新にまつわる史跡など、どこにも負けない優れた観光資源が豊富にあります。ぜひ、訪れる皆さんには、これらを体験、体感していただきたいと思えますし、私もあらゆる機会をとらえてこれらの鹿児島市の魅力の情報発信に努めていきます。

■海外の人々に見てもらいたい「鹿児島市」の魅力にはどのようなものがあると考えていますか。

今回、市民の皆さんの国際交流意識を高め、未来を担う青少年の国際性を育むことを目的に「かごしまアジア青少年芸術祭」を開催しましたが、今後もこのような取り組みを進めていきたいと思えます。



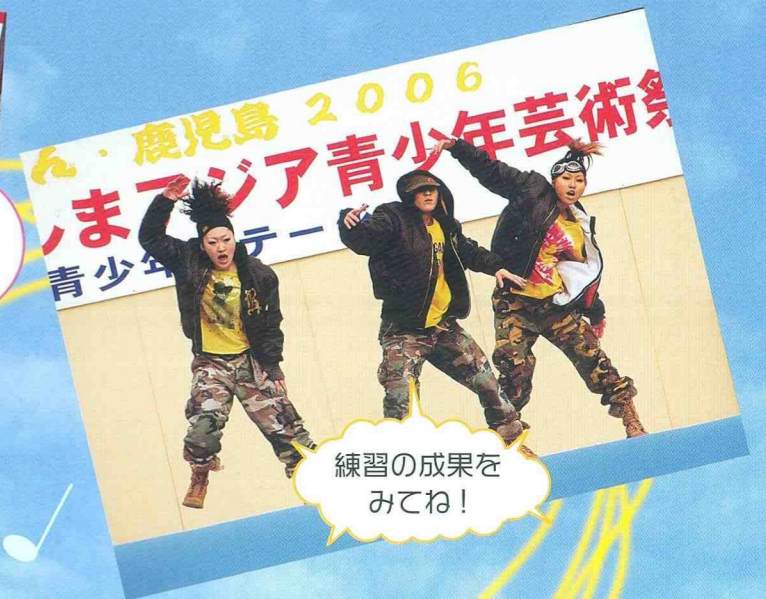
「We are the world」を合唱(かごしまアジア青少年芸術祭)



釜山広域市長と会談し、鹿児島市の魅力をトップセールス(韓国・釜山広域市友好訪問)



どれにしようかな～



練習の成果をみてね!



かごしまアジア青少年芸術祭

中央公園ではさまざまなジャンルの音楽やダンスなどを楽しめる青少年ステージやアジア各国の料理や民芸品などの出店でにぎわいました。また、日本の伝統文化の体験や小・中学校との交流も行われました。



一度は着てみたかった「キモノ」。少し緊張



きねをつくタイミングが難しいよー



伝えたい志がある。 残したい理想がある。

旧制第七高等学校(鹿児島大学の前身)と第五高等学校(熊本大学の前身)の野球対抗戦を舞台に学生たちの群像を描く映画「北辰斜にさすところ」の製作委員会代表 廣田稔さん。現在の教育への危機感から映画製作の発起人となる。

映画は戦前の旧制七高野球部が題材となっている。当時の若者たちの群像を、主人公の戦争体験を織り交ぜて描いていく。映画のタイトル「北辰斜にさすところ」は七高の寮歌の一節。鹿児島から見える北極星の輝く方向を物語ると同時に、人生の指針にたとえている。

かつて七高のエースだった主人公・上田勝弥が、甲子園を目指すもけがをして失意の中にある孫に、人生や哲学について仲間たちと語り合ったことなど七高での思い出を話す。祖父の

話に心動かされた孫は鹿児島大学進学を決意する。一方勝弥は七高野球部建部百周年記念試合への参加を固辞し続ける。そこにはかつて戦地での軍医として先輩を救えなかつたつらい体験があるという設定。

勝弥を三國連太郎さんが、その先輩を緒形直人さんが演じる。そして、メガホンを取るのは「ハチ公物語」や「ひめゆりの塔」などを手がけた神山征二郎監督。

総製作費は4億5千万円。出資者を募る一方で、廣田さん自身も多額の借金をしてクラウンインにこぎ着けた。

「同級生が私の師」

熊本県人吉市で育ち、「自信過剰な性格を持つていたから、自分は優秀だと誤解していた」と語る廣田さん。自分がどれくらいレベルか分からないが、女の子にもてるにはどうしたらいいかと考え医者になることを決意。

熊本大学と鹿児島大学の医学部を受けた。合格を確信するも結果は不合格。浪人する勇氣もなく鹿児島大学法文学部に自ら替えて入学した。学友は全国各地の猛者ばかり。その中でもまれた。先輩や教授にも恵まれ、大学5年間で人生観が変わった。卒業後は法務省で4年間勤務し、8回目の司法試験で合格、大阪に弁護士事務所を構えた。

弁護士としての多忙な日々の中でふと自分を振り返るとき、「自分には何もない、同級生、鹿児島大学、また故郷に恩返しをしたい」とそんな思いが湧いてきた。

「七高生の気概感じてほしい」

現在の教育には危機感をもつ。「今の司法試験合格者は想定問題を丸暗記して受かってくる人もいる。昔はリーガルマインド(法律を実際に適用するに当たり必要とされる柔軟的

確な判断力)をみんな学んできた。セツルメント(社会援助事業)とか法律相談など生身の相談をすることから始まっている。もう一度学問の尊厳を取り戻したい。それには旧制高等学校の教育の中にヒントがある」と思い劇作家で知人の室積光さんに脚本を依頼。

進学率の低かった時代、旧制高校の学生は将来のエリートとして郷土の期待を一身に背負っていた。「公のため」に尽くそうとする志、教育のあるべき姿を映画という方法で次世代に残したい。どのように生きるべきか、日本のモラル不在をどうしたらいいか考えるきっかけにしたい」と力を込める。

昨年中に鹿児島や熊本、大阪での撮影も終わり、今年の秋、全国公開を予定している。



七高があった黎明館の正門前や中央公民館でも行われた映画の撮影。エキストラには鹿大生も協力

Close Up
クローズアップ

廣田 稔さん

略 歴

昭和21年熊本県人吉市に生まれる。鹿児島大学法文学部を卒業後、法務省に入省。昭和52年大阪弁護士会へ弁護士登録。現在の教育への危機感から、映画を通して教育や伝統のあるべき姿を次世代に伝えたいと、平成17年3月映画「北辰斜にさすところ」の製作委員会を立ち上げる。



おいしくて楽しいお弁当の時間

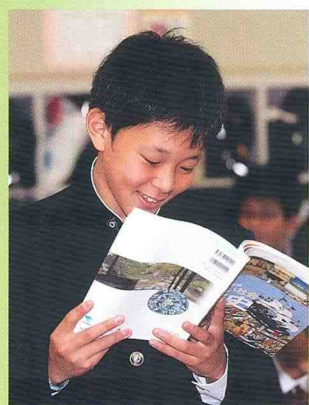
激



高校生との合同練習もある部活動



高校ラグビー部の全校応援。先輩の活躍に歓喜



躍



授業は45分7限。真の学力の向上を目指す



自分たちで作った法被を着ておはら祭に参加



学校探訪

鹿児島玉龍中学校



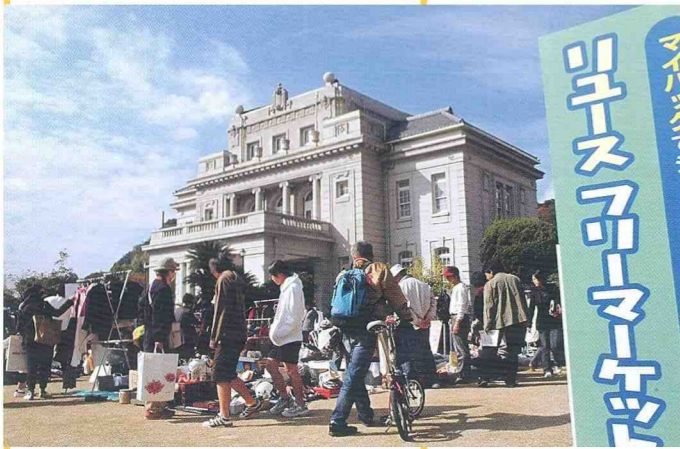
昨年4月1日に公立では九州初の併設型中高一貫教育校として創立。薩摩藩時代の名刹「玉龍山福昌寺」が500年の歴史を刻んだ地に建つ 生徒数 120人(平成18年12月1日現在)

玲



かごしま学で自願流を体験





11月25・26日
かごしま環境フェスティバル2006
市環境アドバイザーによる記念講演やフリーマーケット、おもちゃバザーなど環境に役立つイベントが行われました。



10月30日
新日本石油基地で総合防災訓練
地震によるタンク火災が起きたという想定で基地内や海上での訓練が行われました。中名校区の住民も参加し、訓練を通して防災意識を高めました。



10月22日
第2回鹿児島市安心安全まちづくり市民大会
各地域の自主防災組織などが講演会やパレードに参加。防犯や防災、事故防止への意識を高めました。



9月22日
飛鳥Ⅱ初寄港
国内最大級の旅客船飛鳥Ⅱが谷山港に初寄港。乗客の皆さんは鹿児島島の観光を楽しみました。



11月28日
高麗通線2期区間着工
紫原団地と中郡交差点を結ぶ高麗通線の2期区間の道路築造工事に着工。完成は平成23年度を予定。



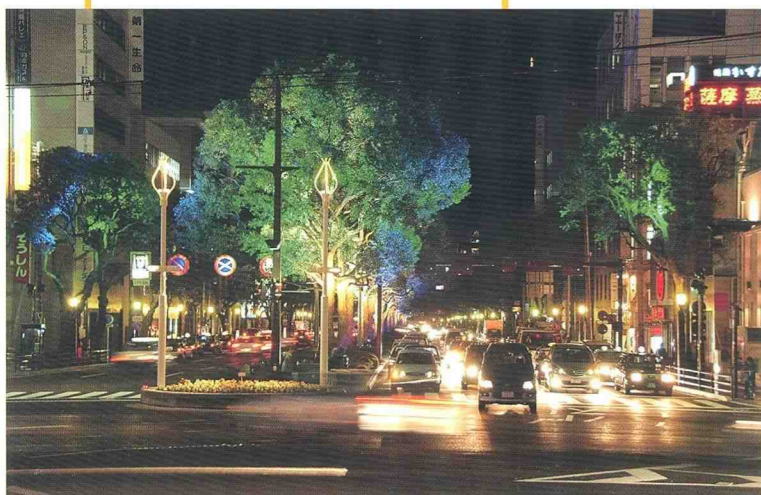
11月2・3日
第55回おはら祭
今年から新たに「渋谷音頭」も加わり、2日間で約260連2万2000人を超える踊り連が鹿児島のメインストリートを練り歩きました。



10月中旬
コスモス(都市農業センター)



10月2日
地域福祉ネットワークモデル事業スタート
地域福祉員が地域を巡回し、住民の地域福祉活動への助言や情報提供などを行うモデル事業が市内6地域で始まりました。



12月8日～
ナポリ通りライトアップ
彩り豊かな鹿児島の夜を演出するため、新たにナポリ通り約700mをライトアップしました。



11月5日
第15回福祉ふれあいフェスティバル
福祉への市民の理解を深めるため、電動車いすサッカーの競技体験など多彩なイベントが行われました。



10月25・26日
秋篠宮殿下来鹿
本市で開催された動物園技術者研究会にご出席のため来鹿。維新ふるさと館や平川動物公園も視察されました。

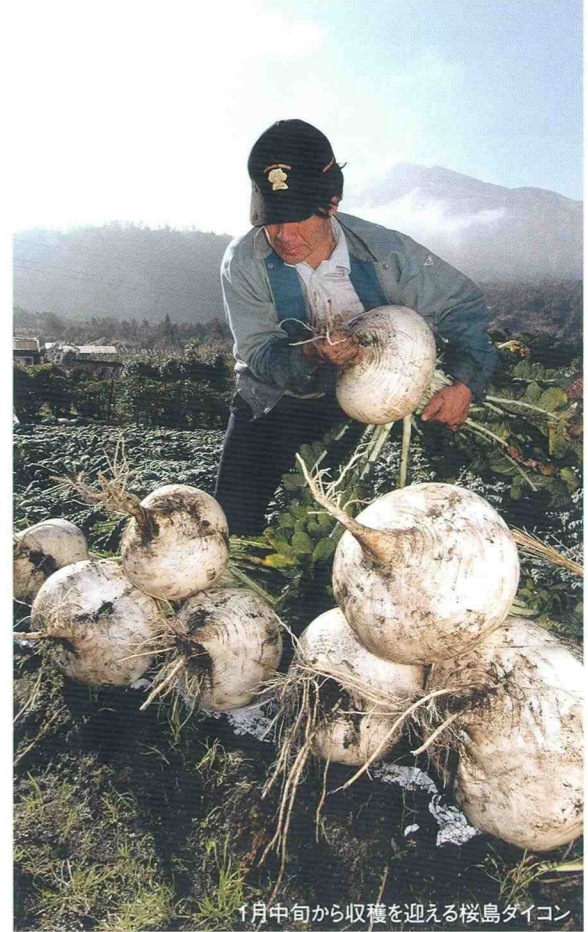
10月20日
新観光キャッチフレーズ決定～あっとほっとずっと鹿児島～
観光PRに活用する新しい観光キャッチフレーズに保岡直樹さん(東京都)の作品が選ばれました。



まるごと 桜島

3

錦江湾に浮かぶ活火山「桜島」。時には厳しく、時には優しく、激しさと静かさを兼ね備え、見る人の心を引きつけます。市民の生活の風景として桜島があります。合併でひとつになった桜島を、シリーズで追ってみようと思います。



1月中旬から収穫を迎える桜島ダイコン

宝の島

桜島は、温暖な気候や火山灰が生み出す水はけのよい土壌でさまざまな農作物が育つことから、かつて「宝の島」と呼ばれていました。しかし、昭和40年代後半以降激しくなった噴火で、農業は大きな被害を受け、ほかの産業に移る人も増えました。

このような厳しい状況の中でも、ビワや桜島小ミカンなどの果樹や、桜島ダイコンや葉ネギなどの野菜の栽培、畜産など災害に強い農業が行われています。

ふたつの世界

桜島ダイコンと桜島小ミカンの栽培の歴史は古く、桜島で栽培が始まったのは400年以上前だと



多い農家では約20種類のシンビジウムを栽培する

を目指して、生産者と農協や火の島めぐみ館などが連携して全国にその魅力を発信していきたいですね。

新たな挑戦

就農者の高齢化や後継者不足が進む一方で、ここ10年ほど若い世代で、シンビジウムやシクラメン、ユリなどの花き栽培を始める人たちも増えていきます。桜島の新たな特産品になることを目指し、それぞれが県外の先進地に勉強に行ったり、新しい設備を取り入れたりして、栽培技術の向上を図っています。

また、代々受け継いできた畑や技術を将来に残していくために、農協や行政機関のOBを中心に「農盛会」という会を作り、農業に取り組んでいます。量は少なくても、とにかくおいしくて良いものを作ろうとお互いに情報交換をしています。

60万市民という大消費者の台所をあずかる近郊農業にこれから求められるのは、減農薬などの安心安全な農産物の提供です。そして、市街地からフェリーで約15分という地理的条件を生かして、グリーンツーリズムなどの農業体験の場



農家がとれたての野菜を並べる火の島めぐみ館



球根をオランダから輸入するスカシユリ



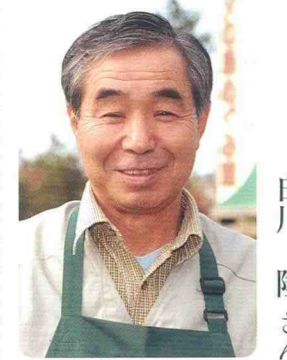
今年は日照不足などが心配されたが甘みがあり出来は上々

も増やしていきたいですね。

噴火と降灰というほかの地域にはない自然条件がある桜島の農業は決してマニュアルどおりにはいきません。先人たちが苦勞を重ねて培ってきた技術を継承しながら、新しい挑戦を続け、再び「宝の島」と呼ばれる日が来ればいいと思います。

話をしてくれた人

道の駅「桜島」火の島めぐみ館 管理人 白川 隆さん



取材メモ

長年、農協の指導員として桜島で農業に携わってきた白川さん。「桜島の農業は難しく面白」といふ言葉が印象的でした。若い世代の新規就農や桜島ダイコンと桜島小ミカンが「故郷に残したい食材100選」に選ばれるなど、元気づいている桜島の農業の今後が期待されます。

この場所が結び付けてくれた 人との出会いが大きな財産

市内の商店街のおかみさんを対象に経営に役立つ講座などを行う市主催の「おかみさんカレッジ」。そこで出会った仲間たちと「鹿児島おかみさん会」を立ち上げました。

「鹿児島おかみさん会」のアピールと地域の活性化のためにイベントを企画することになったとき、私の頭の中で場所はみなと大通り公園以外に考えられませんでした。そしてイルミネーションを生かしたい。そういったアイデアをもとに開催す



イルミネーションフェスティバル。準備に大奮闘

みなと大通り公園

わたしが子どものころ、現在のみなと大通り公園付近をおきおんさあの行列が通っていました。近くのおばの家からその行列をよく見ていたものでした。そのときからここがずっと好きな場所でした。

今ではきれいに整備され、青々とした芝生、季節の花、楽しそうに話をしている若者、噴水で遊ぶ子どもたち、鹿児島の冬の風物詩となっているイルミネーションなどを目にし、訪れるたびに心が癒やされます。

人に集まってほしい、出かけてきてほしい、そんな思いでいっぱいでした。

「鹿児島おかみさん会」はいろいろな種類の女性が集まった会です。自分たちの仕事やうまく成り立っていないと参加できません。そんな仲間たちにあまり負担をかけないようにするにはどうすればいいかなどいろいろ悩みました。そんなときもこの公園に来て、元氣やアイデアをもらっていたんです。

ることになったのが「イルミネーションフェスティバル」。疲れたとき、私の心を癒やし、元氣を与えてくれるこの場所に、たくさんの人

鹿児島おかみさん会 会長

岩坪 恵美子さん

昭和26年鹿児島市生まれ。城西公民館評議員、女と男ネットワークかごしま委員、市体育指導委員などを通じて、地域の活性化に力を入れている。平成18年には群馬県で行われた「全国商店街おかみさん交流サミット」でかかあ天下大賞を受賞。



「取材メモ」
お話を聞いてみると、取材そつちのけで腹を抱えて笑っている自分がいまいた。イルミネーションフェスティバルの失敗談を楽しそうに話す岩坪さんを見て、「鹿児島はこういってたくましいおかみさんたちに支えられているんだな」と実感しました。

わたしも「苦労や失敗は笑顔で吹き飛ばす」を見習ってみよよと思いました。

このイベントをするようになって、人との出会いがとても大切な財産になりました。みんなのアイデア、アドバイスがなかったら、このイベントはできなかったでしょう。今回は初の試みで、1000本近いろうそくをともしたんです。ろうそくに火をつけるのは会場にきている人たちにお願いしました。全員参加型のイベントとしてみんなの心が一つになった瞬間でした。上からはイルミネーション、下からは幻想的なろうそくの光……。素晴らしかったです。

巡り合った人たちがアイデアをいろいろな形で提供し、わたしを盛り立ててくれます。失敗もあつたけど、やってみるとたくさん発見がありました。それが励みになり、次への第一歩となります。これからも失敗や苦労は笑顔で吹き飛ばし、「鹿児島おかみさん会」の仲間たちと鹿児島のみちを元氣にしていきたいですね。

私の好きな場所





心岳寺跡(平松神社)

文尚古集成館副館長
松尾 千歳

今ではほとんど忘れられた鹿児島

島の年中行事の一つに「心岳寺詣り」がある。この心岳寺とは、市街地から国道10号を北上し、始良町に入る少し手前の山手にあった曹洞宗の寺院である。

島津第十六代義久が、この地で非業の最期を遂げた弟・歳久の菩提を弔うため、慶長四(二五九九)年に建立したもので、明治初年の廃仏毀釈によって廃寺となり、平松神社となった。

「心岳寺詣り」は、七月十七日の歳久の命日に三味線や太鼓を打ち鳴らし参詣するもので藩政時代から盛んに行われた。明治になって鉄道が開通した後も、この日だけ臨時停車場が設けられ、大いににぎわったという。

江戸時代の薩摩を代表する文学作品「大石兵六夢物語」にも、この心岳寺が出てくる。

妖怪を退治しようと吉野に来た大石兵六、待ち構えていた狐たちにさんざんな目に遭わされる。そんな兵六の前に現れた親切な心岳寺の和尚。実は狐が化けた姿で、言葉巧みに兵六をだまし、肥だめの風呂に入れて糞まみれにしたあげく、髪の毛をそり落とし坊主頭にしてしまう。兵六が正気を取り戻すと、寺は消え、和尚は狐に戻り、情けない自分の姿を見てぼう然としてしまふのである。

多くの人が参詣し、文学作品にも登場する。それほど人々から敬われたのは、歳久の生きざまが薩摩人の心を打ったからであろう。

歳久は、天正十五(一五八七)年

に島津氏が豊臣秀吉に降伏した後、も、反抗的な態度を崩そうとしなかった。そして朝鮮出兵に反対して起こった島津氏家臣による反乱に関わったのではと疑われた。激怒した秀吉は、義久に「歳久の首を差し出せ。さもなければ領民を皆殺しにする」と通告した。義久はやむなく、鹿児島から居城の虎居城(現さつま町)に向かう歳久に追っ手を差し向け、歳久を自害に追い込んだのである。

「晴蓑(歳久の号)めが玉のありかを人問わばいざ白雲の末も知られず」と辞世の句を詠んだ歳久。終焉の地の眼前には、当時と変わらぬ雄大な桜島と波静かな錦江湾が広がっている。

秀吉に抵抗した島津歳久終焉の地



所在地/吉野町 市指定文化財(史跡)



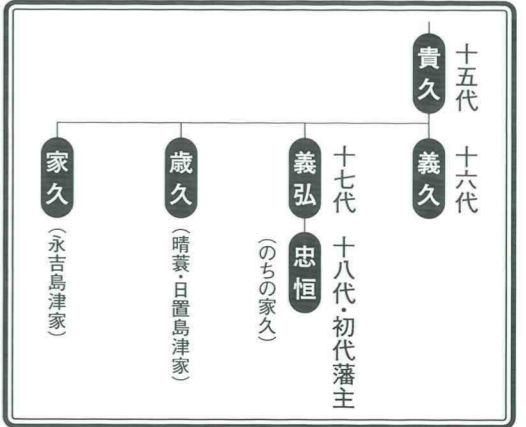
〈セイカ食品「株発行」大石兵六夢物語より〉



■心岳寺で狐怪和尚に化かされる大石兵六



■境内から望む錦江湾





「南国の大雪」 吉海江 春代



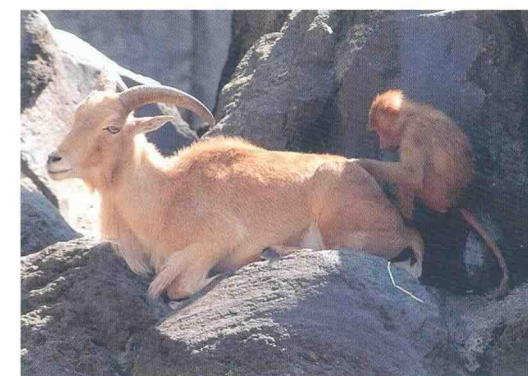
「外は雪」 本田 弘美



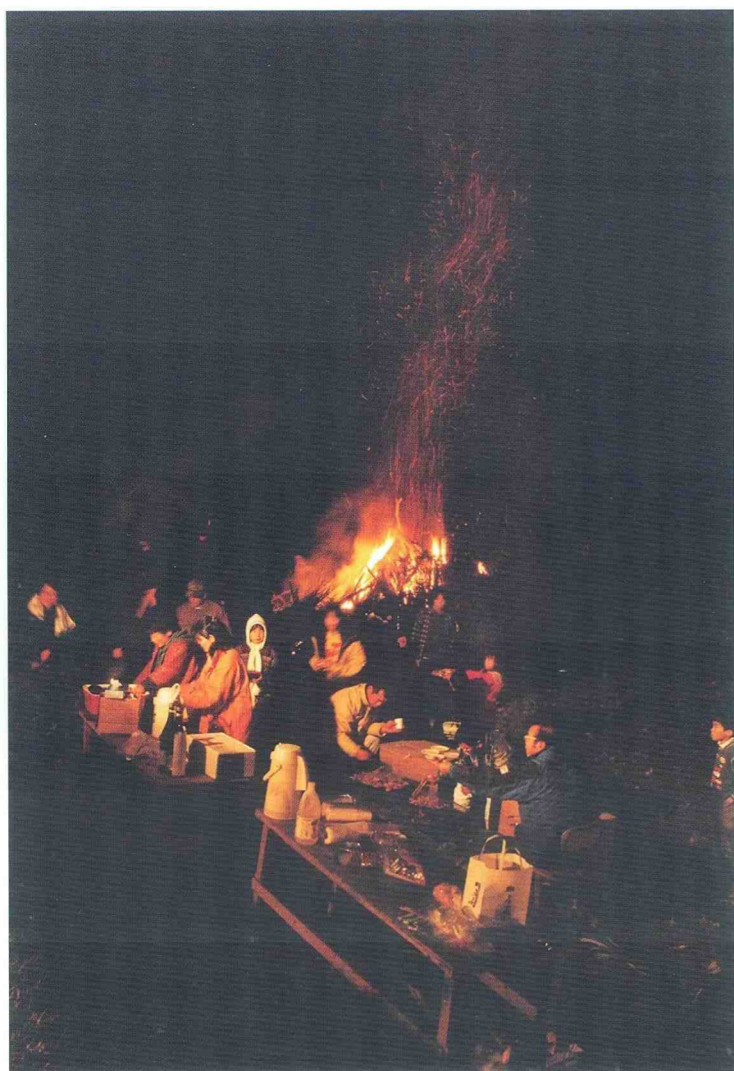
「登校」 竹丸 規子

「かごしまの冬」

松元写友会



「陽だまり」 本村 千草



「鬼火焚き」 榎山 つぎ



「上ノ坊石塔群」 安栖 光弘

よか時間

TIME

納得できる作品を作りたいから、まだまだ学び続けたいと、その姿勢はどこまでも意欲的。



ビデオ作品づくり
りようこ
山田 良子さん

すてきな仲間を
お持ちですね

ビデオと出会って24年。サークルでは、撮影や編集の方法を学びながら、自然や伝統行事などをテーマにした作品を制作したり、コンクールへ出品したりしています。仲間とは、けんか腰になつて意見を言い合うこともありますが、帰るときはいつも笑顔。これまで活動を続けられたのも、仲間をはじめ、地域の皆さんや先輩、視聴覚関係の先生方のおかげです。

ビデオの魅力は

完成した作品を見て、撮影を依頼した方が喜んでくださるのがうれしいですね。そして何より、ビデオを通していろんな人と知り合えることが私の一番の宝です。

編集作業は大変？

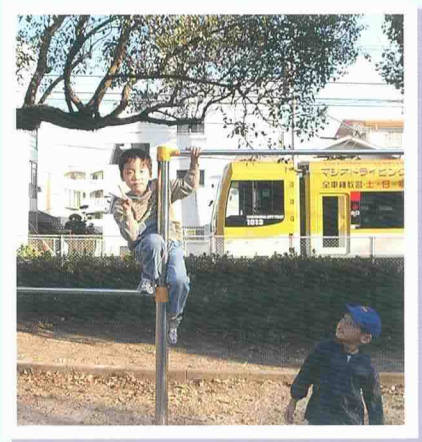
自分が納得するまで編集作業をするので、ふと時計



を見ると夜中ということも度々。でも、まったく苦にならないんです。パソコンで新しい機能を発見することが喜びでもあり楽しみでもあります。

これからの活動は

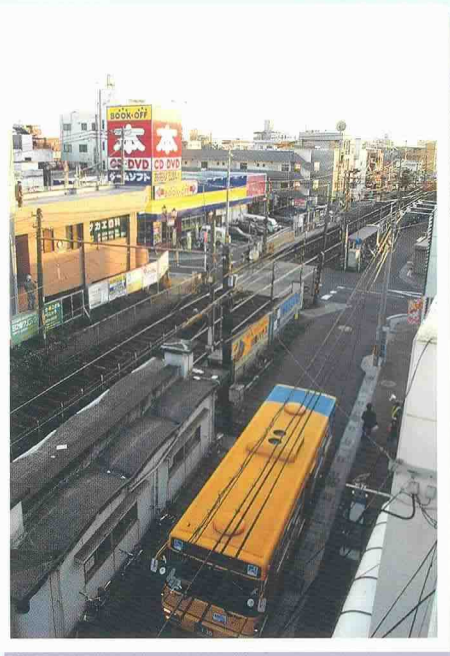
ある一つの取材の中から別の話題が生まれてくる。今度はそれを調べてみたくなる。そんなふうにして、ビデオはわたしの世界をどんどん広げてくれるんです。今後は歴史の勉強もしたいですね。そしてこれからも、地域の伝統行事などを撮り続けてそれを多くの人に知ってもらい、地域の皆さんに喜んでいただければと思っています。



街角

ウォッチング

～宇宿駅周辺～



味が家の味まん



「MENU DO(メニュード)」

アナスコさんファミリー
【下荒田二丁目】



家庭の数だけ食卓があり、家庭の数だけ語りがある。テーブルに広げられた自慢の料理は、家族の笑顔を演出する。

鹿児島市内におよそ25万8千世帯。一人から大家族まで食卓の風景はさまざま。わが家の味は家庭をどのように彩っているのだろうか。

鹿児島大学の水産学部で勉強するため、フィリピンからきたナサニエルさん。米鹿当時は奥さんのチェリーさんと2人だったが、イチロウ君が生まれて3人家族になった。

ナサニエルさんとイチロウ君が散歩から家に帰ると「お帰りなさい」とチェリーさんが夕食の準備の手を止め、やさしい笑顔で迎えてくれた。台所には夕食のためにきれいに切り分けられた材料が並んでいる。

肉と野菜を煮込んだ香りが家中に広がっている。

今日のメニューはフィリピンでみんなが集まったときによくつくる料理「メニュード」。好みの量をごはんと一緒に食べる。「日本では、ごはんとおかずは別々の料理だけど、フィリピンはごはんとおかずを合わせて一品になるんですよ。なるほど、カレーを食べるような感じ。よく煮込まれた材料にトマトソースなどで味付け。「フィリピンはトマトを

使う料理が多いから、赤い料理が多いよ」。口の中ですりりと溶け、ピーマンのシャキシャキ感と鶏肉の歯ごたえのバランスがたまらない。レーズンが独特の味わいを出す。少し甘めのこの料理は、日本ではあまり口にしない味だが、抵抗なくすんなりと受け入れることができる。

目に入るすべてのものに興味をもつ年齢のイチロウ君。目が離せないので夫婦交代でご飯を食べる。「お母さんの料理はおいしい？」という質問に「うん」と笑顔で答える。「妻の料理は最高ですよ、だからこんなに太ってるんですよ」とナサニエルさん。食事に違いはあっても、家族の団らんには国の違いはない。

今回のレシピ

「MENU DO(メニュード)」



1. 材料 (4人分)
A(鶏肉300g、ウインナー6本、タマネギ1個、ジャガイモ2個、ニンジン1本、赤・緑ピーマン各1個、パインナップル50g、チーズ30g)、ニンニク2片、レーズン20g、トマトピューレ150g、ケチャップ150g、砂糖大さじ3、小さじ1、こしょう少々

2. 調理手順
- ① Aを1cm角のサイコロ状に切り、ニンニクは薄切りにする。
 - ② 鍋に油をひき、ニンニクとタマネギを炒める。
 - ③ 鶏肉を入れ、塩、こしょうで味をつけ、ふたをして5分煮る。
 - ④ 鶏肉に色がついたら、ジャガイモを入れふたをして5分煮る。
 - ⑤ ニンジン、ソーセージを入れふたをして5分煮る。
 - ⑥ トマトピューレとケチャップ、パインナップル、レーズン、チーズ、砂糖を入れ、ふたをして5分煮る。
 - ⑦ ピーマンを入れ軽く混ぜたら、火を消す。

平川動物公園

「アルダブラゾウガメ」



アルダブラゾウガメは、インド洋上のアルダブラ、セーシェル両諸島に生息している陸生最大のガメです。体が大きいこと、足がゾウの足によく似ていることから「ゾウガメ」という名前が付けられました。長寿で152年間の飼育記録があります。

平川動物公園のアルダブラゾウガメは、オスのジャンボ(31歳、131kg)、メスのサクラ(31歳、87kg)とその子供たち3頭合計5頭。ジャンボとサクラは、遠くアフリカのタンザニアで生まれ、沖縄で成長して、平成7年に平川動物公園に。平成10年2月、初めて子ガメが^{ふか}孵化しました。アルダ

ブラゾウガメは全国の動物園や水族館で飼育されていますが、動物園で繁殖に成功したのは全国初で私たちに喜びと感動を与えてくれました。

生まれたばかりの子ガメは体重約50gですが、20年もすると100kgくらいに成長します。ジャンボとサクラ、そして子どもたちは、健康であれば、あと100年以上生きるかもしれません。私たちの子どもはもちろん、孫やひ孫にもかわいがられることでしょう。平川動物公園の宝物、長寿動物「アルダブラゾウガメ」にぜひ会いに来てください。

(平川動物公園 獣医師 桜井普子)



わが町上空

公営企業編

薩摩半島と大隅半島を結ぶ海のハイウェイ・桜島フェリー。暮らしに欠かせない生活・観光航路で、日本一の日当たり約1万5000人の旅客と4000台の車両を乗せ、「安全快適24時間運航」に努めています。

国民宿舎レインボー桜島には、国内外の宿泊客が桜島の景観と味覚を楽しみに訪れます。錦江湾と市街地が一望できる桜島マグマ温泉は、昨年入館者が100万人を突破しました。

国道沿いの道の駅「桜島」（火の島めぐみ館）は人気のお土産スポット。地元の新鮮な山の幸・海の幸を求めて多くの観光客が足を運びます。

現在、観光資源の宝庫・桜島を一体的に整備し、さらに魅力を高めるため「桜島観光振興プラン」の策定が進められています。

人とまちを結ぶ動く架け橋・桜島フェリーには、観光振興の水先案内としての役割が、より一層求められています。

「船舶部(桜島フェリー)周辺」



編集・発行／鹿児島市広報課

鹿児島市山下町11番1号

電話 216・1133

印刷・レイアウト／海上印刷株式会社



猪の子(和名:コトヒキ)